

研修会報告

平成 25 年 11 月 18 日

文責：学術部長 氏家和明

研修会テーマ「医学論文と臨床検査」

開催日時 平成 25 年 11 月 16 日（土）14：00～15：30

会場 TKP 仙台西口ビジネスセンター カンファレンスセンター2A

講演 「医学論文を読むための基本からの統計学」

講師 東北大学大学院 医学研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野助教 佐藤一樹先生

参加者 会員参加者 15 名 実務委員 4 名 計 19 名

内容

なぜ医学統計を学ぶのかから始まり、P 値と統計学的仮設検定の考え方、検定 2 つの過誤、バイアスについての説明があった。次に統計解析の実際としてデータの種類、要約統計量（ばらつきの指標、確率変数と確率分布、連続変数・順序変数の 2 群間比較および多群間比較、名義変数の 2 群間比較、相関と回帰分析の説明があった。

佐藤先生は、コイン投げ、手術件数と合併症発生率が良い病院の指標になるか、飲酒は肺がんの原因になるかといった例をあげ、できるだけ数式を省き、専門用語を、わかりやすく解説された。

2 つの因子の関係を調べるときに、その両方に影響を与えている第 3 の因子が存在することを交絡と呼ぶことを学んだ。この交絡を調整するには重回帰分析（多変量解析）が必要ということが良く理解できた。資料の最後には、佐藤先生がまとめた検定方法のフローチャートがついていて、非常に役に立つツールと感じた。医療統計をする場合は、エクセルよりも専門のソフトを購入したほうが良いということもわかった。

残念なのは、今回参加者が少なかったことで、基礎課程における企画不足を反省している。